

ダウンロード製図のご利用手順

解凍

開く


正しい場所に保管する

製図を呼び出して印刷

の手順でご利用ください。

一旦覚えると簡単です。最初は戸惑うかも知れませんが、印刷までの手順を是非覚えて、ダウンロード製図を今後もお楽しみください。

<注意> パソコン本体に製図データを保存している方は、ダウンロードした製図データを、その保存データに上書きしない様に注意をしてください。上書をして消えたデータは復元することができません。この後、詳しく解説しますが、この点を注意していただければ安全です。正しい方法でダウンロードをお楽しみください。

念の為、保存製図データをバックアップしましょう。バックアップ方法は、先にお渡ししていますマニュアルの中で解説しています。「デザイン複写ボタン」を使う方法と、フォルダ  ごとコピーする方法があります。


入門ソフトやパタピッ ソフトのみの購入者は、原則としてバックアップの必要はありません。入門ソフトやパタピッ ソフトには「保存」ボタンが無いからです。

但し、「デザイン複写」ボタンを使って、固定ドライブにパタピッ ソフトをコピーした場合や、過去にダウンロード企画を利用して、製図データを固定ドライブに保存している場合は、念のためバックアップをお願いします。

CAD を購入したユーザーは、CAD に保存機能がありますので、念のためバックアップをしてください。

解凍


ダウンロードファイルは圧縮ファイル（Zip）です。圧縮ファイルをクリックすると、解凍が始まります。解凍後のファイルの保存場所を尋ねてきた場合は、ひとまず同じフォルダの中を指定してください。


解凍が完了すると、フォルダ  が現れます。この中に製図データと解説用のファイルが納められています。（下図参照）

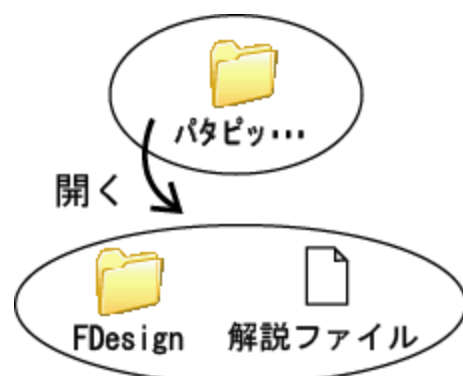
圧縮ファイルをクリック（又はダブルクリック）しても何も反応しない場合は、パソコンに Zip 解凍ソフトがない事が考えられます。

Zip 解凍ソフトがないパソコンでは解凍ができません。解凍ソフトは、インターネットから無料でダウンロードすることができます。解凍ソフトをインストールしてから 解凍操作を行ってください。

開く

 を開くと、右図の様な構成になっています。


 は製図の大切なデータが入っています。



ここでは開く必要はありません。

但し、この後の操作でうまくいかない場合は、このフォルダを開いて複数の必要ファイル（data、FDesign.mdb）が入っているかどうか確認してください。

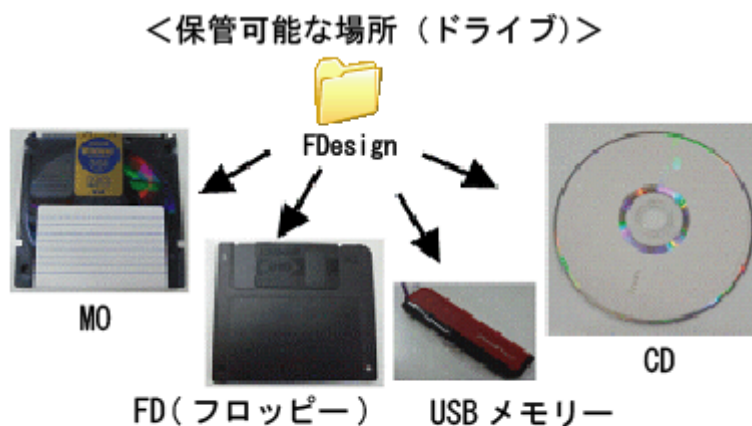
正しい場所に保管する

製図は  を正しい場所に置くことで初めて正常に作動します。

正しい場所に正しい状態で置かれないと製図を呼び出すことができません。

正しい場所は、固定ドライブか MO、FD、USB メモリー、または CD など外部ドライブの第一階層です。第二階層以下では、製図を呼び出すことはできません。

フォルダの名称を変えることはできません。
そのままドライブの第一階層に置いてください。
（コピー 貼り付け）




どのドライブも 第一階層に保管してください。

ドライブを開くとフォルダ「FDesign」がある状態

<注意> 第一階層にすでに同名のフォルダがある場合は、そのドライブは避けてください。上書きされ、既存の製図データを失うことになります。（但し、同名のフォルダの中身が空であれば問題ありません。）

危険を避けるためにも、ダウンロード後の保管ドライブは、当ソフトで使用した経緯のないドライブをお勧めします。

一旦ドライブにダウンロード製図を保管した後、**デザイン複写** ボタンを使って、他のドライブに製図データを移動することができますので、ダウンロード後は安全の為に、未使用のドライブを使いましょう。


複数の製図データをダウンロードする場合は、ひとつひとつ異なるドライブに各  を保管してください。一旦は別々のドライブに落としてから、**デザイン複写** ボタンを使って、製図データを一箇所に集めることができます。

<起動後の各種ボタン>

正しい保管ができたなら準備完了です。

レイアウト


製図データを他へ移動できるボタン

 デザイン複写

さあ、製図を呼び出して印刷しましょう。

使用するアイコンは、ご購入のソフトにより異なります。

パタピッ ソフト以外に **HILKY CAD** も購入したユーザーは、アイコン  を使用します。

CAD を持たないユーザーは、アイコン  を使用してください。

PatmPit

どちらも、製図の印刷は、家庭用の小型プリンターでは自動分割印刷で実物大に印刷され、大型プリンターでは、一紙にまとめて印刷することができます。

製図を呼び出して印刷

アイコン  をクリック

アイコン  をクリック

レイアウト ボタンを
クリック

クリック

環境設定

レイアウト

デザイン複写

ドライブを選択・・・製図データ（FDesign フォルダ）の保存先ドライブを選択

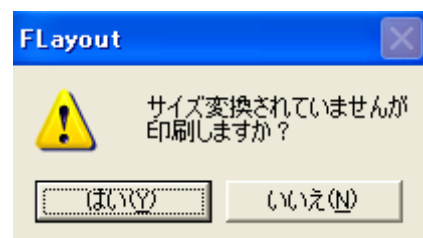
製図を選択・・・「デザイン選択」枠の中に製図名称があります。一つを選んでクリックします。

中央の画面に製図が現れます。

ダウンロード製図はソフトではありません。

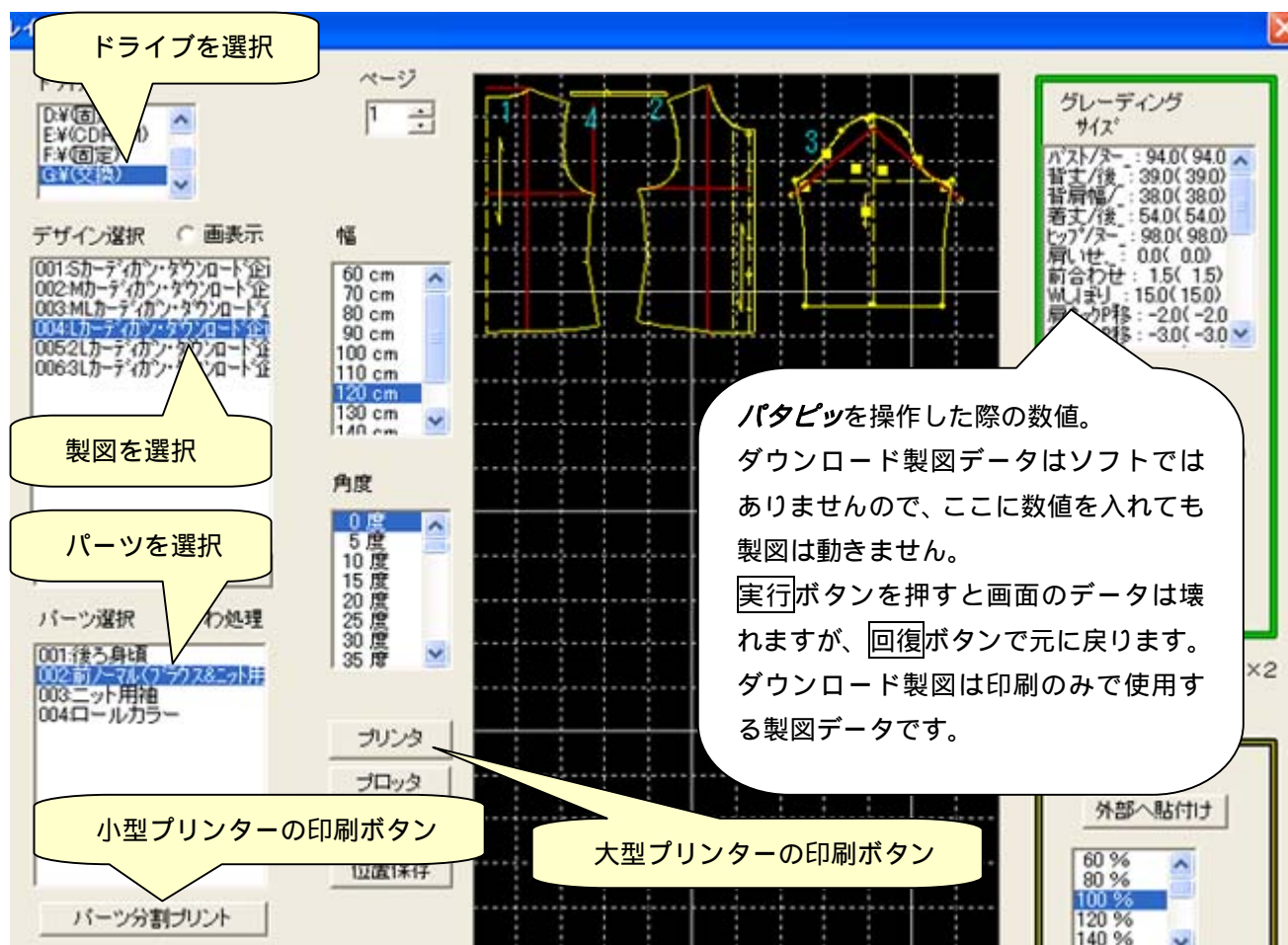
サイズを入力しても変換はできませんので、そのまま印刷して使用してください。数値変更して実行ボタンを押すと画面の製図は壊れます。でも、データが壊れた訳ではありませんので、**回復ボタン**で元に戻して印刷作業に進んでください。

又、印刷に進む際に右の様なメッセージが出ますが、ダウンロード製図はソフトではありませんので、「はい」を押して進んでください。



パーツを選択・・・「パーツ選択」枠の中から印刷するパーツの一つを選びます。（家庭用小型プリンターで分割印刷する場合は、1 パーツずつ印刷する為、パーツを選んでから印刷ボタンを押します。大型プリンターで全パーツを一紙にまとめて印刷する場合は、画面に紙の幅に納まるように配置してから印刷作業に進みます。大型プリンターからの印刷については、マニュアルの解説をお読みください。

下画像が今回の製図データと異なる場合も操作手順は同じです。順番に従って進んでください。



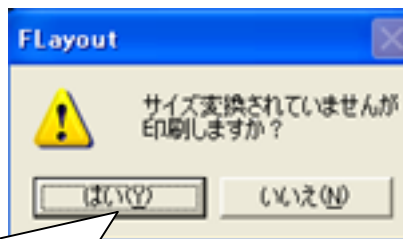
製図の印刷・・・製図を印刷する場合は、3つのボタンのいずれかで操作する

A 家庭用小型プリンター（A4,A3サイズ）・・・**パーツ分割プリント**ボタン

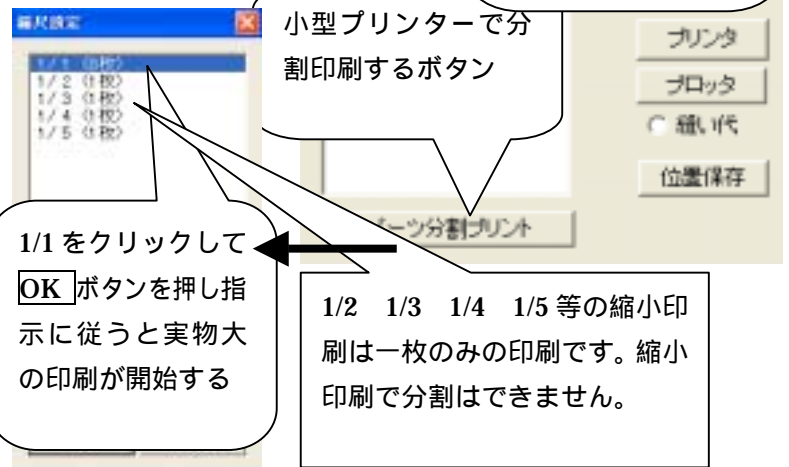
パーツ選択枠の中のパーツをクリックしてからボタンを押すとそのパーツの自動分割印刷が始まる。

下のメッセージボックスが現れますが、**はい**を押して印刷を継続してください。

実物大印刷は「1/1」をクリックして画面の指示に従う。



ダウンロードした製図データはソフトではない為、印刷の際にこの画面が現れますが、**はい(Y)**を押して先に進んでください。



印刷に関する詳細は、マニュアルでも詳しく解説しています。

大型プリンターを含め、この先の詳細につきましては、マニュアルをご覧ください。

印刷が完了すれば、このダウンロードの全工程は終了です。**終了**ボタンで画面を閉じます。

<ダウンロード製図をご利用いただく目的>

パタピッ ソフトの操作につきましては、マニュアルやパタピッ Magazine を通してユーザーの方々にできるだけ分かり易くを心がけて解説していますが、しかし、「正しいのかな？間違っていないだろうか？」と迷われることもあるでしょう。

操作後の製図を実際に見ることができ、自分の操作と比較できれば、正否の判断ができます。正しいことが確信できれば、次のステップへ安心して進むことができます。

製図に使用した同ソフトが手元にある場合は、是非同じ操作をしてみてください。

画面右上のサイズ入力枠の数値が参考になります。手元のパタピッ ソフトに同じ数値を入れて、同様に操作してみましょう。同じ製図結果が得られるでしょう。


画面の数値は、トップスでは身頃のみ数値です。袖や襟の操作については、パタピッ Magazine の入力表をご覧ください。ボトムデザインについてはそのまま参考になります。

又、ダウンロード製図で補正が生じた場合は、補正に関する数値操作をすると、完璧な製図が得られます。手元の同ソフトに補正項目を加えて操作しましょう。

ダウンロード製図をご利用いただく目的は、
パタピッ ソフトが数値操作で如何に早く正しく柔軟に製図を仕上げることができ、服のでき
上がり が 他のどの製図手段より美しく、着心地が良いことを確認していただくことにあり
ます。
そして、何よりも 正しい製図で素敵な服の創作を楽しんでください。

ダウンロードした製図を他のドライブに移動したい

CAD ユーザーは、ダウンロード製図を他のドライブに複写（コピー）することができます。
ダウンロード製図を、他の場所に移動したい場合は、**デザイン複写**ボタンを使って複写（コピー）してくださ
い。この複写方法の詳細は、マニュアル（よく分かるパタピッ&HILKY CAD）で詳しく解説しています。

CAD を持たない入門ソフトユーザーも、この**デザイン複写**ボタンを使
って複写ができますが、複写場所を間違えるなどで操作を誤った場合に、
そのデータを消すことができません。
データを消したいという場合は、フォルダ  **FDesign** ごと削除してくださ
い。

<起動後の各種ボタン>

レイアウト

製図データを他へ移動できるボタン

デザイン複写

トラブル . . . ?

ちょっと操作を間違えると 思い通りに進まないことがあります。


レイアウト



をクリック ドライブ選択

この後 製図が画面に現れない . . . という場合は、解凍がうまくいっていない、或いは 保存場所が間違っ
ている . . . などが原因としてあげられます。



パタピッ を保存したドライブを開き、第一階層に  **FDesign** (FDesign フォルダ) が存在しているかど
うかを調べてください。

更に、FDesign フォルダを開くと、 **data** と  **FDesign mdb** が存在していて、data フォルダを開くと数
個のファイルが存在するかどうかを調べてください。

data フォルダを開いても何も入っていない場合は空です。空の  **FDesign** は捨てて、もう一度解凍からや
り直してください。

もし、FDesign フォルダの中に FDesign フォルダがあり、それを開くと  **data** と  **FDesign mdb** がある場合
は、中の FDesign フォルダを第一階層に移動してください。

とにかく、第一階層に  **FDesign** があり、その中に  **data** と  **FDesign mdb** と、その中に数個のファイル
があれば正解です！


ダウンロードデータには  **Picture** があるものがありますが、 **Picture** が無くても製図は正常です。

最低限  **data** と  **FDesign mdb** の二つがあれば正解です。

保存してない場所に  ができてしまった！
FDesign

レイアウト

をクリック ドライブ選択

・・・ この工程で、パソコンに複数のドライブをつなげている場合、このドライブ選択で、 が存在しないドライブをうっかり選んでしまうことがあります。 レイアウト画面でドライブを選択すると、データが存在しなくても自動的に FDesign フォルダができ上がる構造になっています。 この時でき上がった FDesign は空です。マイコンピュータを開き FDesign フォルダを開いて中が空の場合は、このフォルダはごみ箱に捨ててしまって構いません。不要なフォルダです。

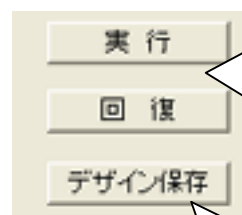
実行ボタンを押したら製図が壊れた？

ダウンロードの製図データは **パタピッ** ソフトではありません。 サイズを入力して **実行** ボタンを押してもサイズ変換ができません。 その為、画面の製図は、線が消えるなどで元のラインが壊れます。

でも、本体のデータが壊れた訳ではありませんので安心してください。

回復 ボタンを押すと元の製図に戻ります。

戻った製図を印刷して使用してください。



実行 ボタンで製図が壊れた場合は、**回復** ボタンで修復できます。

ダウンロード製図は **保存** ができません。
又、**CAD** で製図を開くことができません。

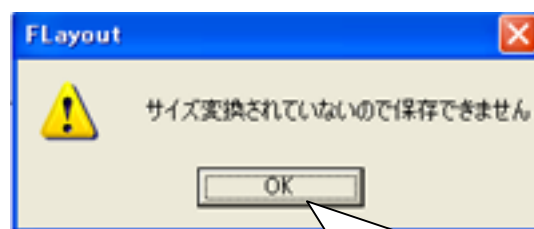
保存ができない！ CAD で見れない！

ダウンロードの製図データは **保存** ができません。

また、**CAD** で開くことができません。

保存 ボタンを押すと下のメッセージが出ます。 **OK** を押して閉じてください。

仮に、下のメッセージが表示されず、保存工程に進んでも、コピーした製図は正常な状態ではありませんので、不正な製図は破棄してください。



保存 ボタンを押すと、このメッセージが出ます。 **OK** ボタンを押すとこのボックスは消えます。